

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

ディーヴォ ガイド



2025.12.15-21

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

19:1 二番目のくじはシメオン、すなわち、シメオン部族の諸氏族に当たった。彼らの相続地はユダ族の相続地の中にあった。

19:2 彼らの相続地はベエル・シェバ、シェバ、モラダ、

19:3 ハツアル・シュアル、バラ、エツェム、

19:4 エルトラデ、ベトル、ホルマ、

19:5 ツィクラグ、ベテ・マルカボテ、ハツアル・スサ、

19:6 ベテ・レバオテ、シャルヘン。十三の町とその村々。

19:7 アイン、リンモン、エテル、アシャン。四つの町とその村々。

19:8 これらの町々の周りにあって、バアラテ・ベエル、ラマテ・ネゲブにまで及ぶすべての村。これがシメオン部族の諸氏族の相続地である。

19:9 シメオン族の相続地はユダ族の割り当て地から取られた。ユダ族の割り当て地が彼らには広すぎたので、彼らの相続地の中にシメオン族は相続地を受けたのである。

19:10 三番目のくじはゼブルン族の諸氏族のために引かれた。彼らの相続地の領域はサリデに及んでいた。

19:11 境界線は西へ上って行き、マルアラに至り、ダベシェテに達し、またヨクネアムの向かいの川に達した。

19:12 サリデから反対方向へ、東、すなわち日の昇る方へ向かうと、キスロテ・タボルの地境に至り、ダベラテに出てヤフィアに上る。

19:13 そこから東、すなわち日の出る方へ進んで、ガテ・ヘフェルとエテ・カツィンを過ぎ、リンモンに出てネアの方に折れる。

19:14 北の境界線はそこでハナトンに回る。その終わりはエフタフ・エル谷である。

19:15 カタテ、ナハラル、シムロン、イデアラ、ベツレヘム。十二の町とその村々。

19:16 これがゼブルン族の諸氏族の相続地であり、その町々とそれらの村々である。

19:17 四番目のくじはイッサカル、すなわち、イッサカル族の諸氏族に当たった。

19:18 彼らの地域はイズレエル、ケスロテ、シュネム、

19:19 ハファライム、シオン、アナハラテ、

19:20 ラビテ、キシュヨン、エベツ、

19:21 レメテ、エン・ガニム、エン・ハダ、ベテ・パツェツである。

19:22 その境界線はタボルに達し、シャハツィマとベテ・シェメシュに向かう。境界線の終わりはヨルダン川である。十六の町とその村々。

19:23 これがイッサカル部族の諸氏族の相続地であり、その町々とそれらの村々である。

シメオン族、ゼブルン族、イッサカル族の土地が決められました。それぞれ、ユダ族の土地の一部、海に面した土地、肥沃な土地などです。土地を得るというのは、全く同じものを分けて高平にするというわけにはいきません。他の部族とは違うのです。ここに不平や不満も出る可能性があります。

私たちの人生も同じで、人と同じということはありません。どれも主から与えられたということを感じて、主に信頼しましょう。感謝して受けて、それを生かすとき、祝福された人生になります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



16日 火曜

ヨシュア



19:24 五番目のくじはアシェル部族の諸氏族に当たった。
19:25 彼らの地域はヘルカテ、ハリ、ベテン、アクシャフ、
19:26 アラメレク、アムアデ、ミシュアルである。西に向かってカルメルとシホル・リブナテに達し、
19:27 日の昇る方、すなわちベテ・ダゴンに戻り、ゼブルンに、さらに北の方でエフタフ・エル谷に達し、ベテ・ハ・エメク、ネイエルを経て左の方、カブルに出て、
19:28 エブロン、レホブ、ハモン、カナを経て大シドンに至る。
19:29 その境界線はラマの方に戻り、城壁のある町ツロに至る。それから境界線はホサの方に戻る。その終わりは海である。マハレブ、アクジブ、
19:30 ウマ、アフエク、レホブ。二十二の町とその村々。
19:31 これがアシェル部族の諸氏族の相続地であり、その町々とそれらの村々である。
19:32 六番目のくじはナフタリ族に、すなわち、ナフタリ族の諸氏族に当たった。
19:33 彼らの地域は、ヘレフと、ツァアナニムの榎の木から、アダミ・ハ・ネケブ、ヤブネエルを経てラクムに至る。その終わりはヨルダン川である。
19:34 その境界線は西の方、すなわちアズノテ・タボルに戻り、そこからフコクに出て、南でゼブルンに達し、西でアシェルに達し、日の昇る方のヨルダン川でユダに達する。
19:35 城壁のある町はツイディム、ツェル、ハマテ、ラカテ、キネレテ、

19:36 アダマ、ラマ、ハツオル、
19:37 ケデシュ、エデレイ、エン・ハツオル、
19:38 イルオン、ミグダル・エル、ホレム、ベテ・アナト、ベテ・シュメシュ。十九の町とその村々。
19:39 これがナフタリ部族の諸氏族の相続地であり、その町々とそれらの村々である。
19:40 七番目のくじはダン部族の諸氏族に当たった。
19:41 彼らの相続地の領域はツオルア、エシュタオル、イル・シュメシュ、
19:42 シャアラビン、アヤロン、イテラ、
19:43 エロン、ティムナ、エクロン、
19:44 エルテケ、ギベトン、バアラテ、
19:45 エフデ、ベネ・ベラク、ガテ・リンモン、
19:46 メ・ハ・ヤルコン、ラコン、およびヤッファに面する地域である。
19:47 ダン族の地域は彼らから失われたので、ダン族は上って行き、レシエムと戦った。彼らはそこを取り、剣の刃で討つと、これを占領してそこに住み、自分たちの先祖ダンの名にちなんでレシエムをダンと呼んだ。
19:48 これがダン部族の諸氏族の相続地であり、その町々とそれらの村々である。
19:49 地を地域ごとに相続地として割り当て終えたとき、イスラエルの子らは、自分たちの間に一つの相続地をヌンの子ヨシュアに与えた。
19:50 【主】の命により、ヨシュアが求めた町、すなわち、エフライムの山地にあるティムナテ・セラフを彼に与えた。彼は町を建て、そこに住んだ。
19:51 これらは祭司エルアザル、ヌンの子ヨシュア、そしてイスラエルの諸部族の一族

のかしらたちが、シロにおいて会見の天幕の入り口、すなわち【主】の前で、くじによって割り当てた相続地である。彼らは地の割り当てを終えた。

ナフタリ族、ダン族に土地が与えられました。しかしこれらは状況を見ると、防衛に難しい土地でした。それでも不満がなかったのは、指導者であるヨシュアが自分を後回しにしたからでしょう。そのような私心のない姿が、民に良い感化を与えました。模範としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 17日 水曜

ヨシュア



20:1 【主】はヨシュアに告げられた。
20:2 「イスラエルの子らに告げよ。『わたし
がモーセを通してあなたがたに告げておいた、
逃れの町を定めよ。
20:3 意図せずに誤って人を打ち殺してしまっ
た殺人者が、そこに逃げ込むためである。血
の復讐をする者から逃れる場所とせよ。
20:4 人がこれらの町の一つに逃げ込む場合、
その人はその町の門の入り口に立ち、その町
の長老たちに聞こえるようにその事情を述べ
よ。彼らは自分たちの町に彼を受け入れ、彼
に場所を与える。そして彼は彼らとともに住
む。
20:5 たとえ血の復讐をする者が彼を追って来
ても、その手に殺人者を渡してはならない。
彼は隣人を意図せずに打ち殺してしまったの
であって、前からその人を憎んでいたわけ
ではないからである。
20:6 その人は会衆の前に立ってさばきを受け
るまで、あるいはその時の大祭司が死ぬまで
その町に住む。その後で、殺人者は自分の町、
自分の家、自分が逃げ出した町に帰って行く
ことができる。』」
20:7 彼らはナフタリの山地のガリラヤのケデ
シュ、エフライムの山地のシェケム、ユダの
山地のキルヤテ・アルバ、すなわちヘブロン
を聖別した。
20:8 ヨルダンの川向こう、エリコの東の方で
はルベン部族から台地の荒野のベツェルを、
ガド部族からギルアデのラモテを、マナセ部
族からバシャンのゴランをこれに当てた。
20:9 これらはすべてのイスラエルの子ら、お
よび彼らの間に寄留している者のために設け

られた町である。すべて、誤って人を打ち
殺してしまった者がそこに逃げ込むため
であり、会衆の前に立たないうちに、血の復
讐をする者の手によって死ぬことがないよ
うにするためである。

イスラエルが勝利して、その土地が分けられ
た一安心ですが、それで終わることはできません。
共同体の危機があったときの対処をしておくこ
とがすぐにでも必要でした。

それは殺人とそれによる混乱です。人を殺すこ
とほど大きな罪はなく、それによる混乱こそ共同
体にとって脅威となるでしょう。復讐や憎しみの
連鎖が平和を壊し、報復が共同体を台無しにしま
す。それはサタンのしわざと言えるでしょう。

教会、クリスチャン同志も同じです。罪によっ
てまたは過ちによって、誰かが犠牲となったとき
も、直ぐに報復やさばきをしないで、主のみこ
ころを聞く必要がありますし、そのために待つ必要
もあります。

自分はいじょうぶと思わないで、謙遜になり、
またサタンに対して警戒して、危機のための備え
をしましょう。主に聞きつつ、主の御心になるよ
うにという意図を持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18日 木曜

ヨシュア



21:1 レビ人の一族のかしらたちは、祭司エルアザル、ヌンの子ヨシュア、そしてイスラエルの人々の部族の、一族のかしらたちのところに近寄って来て、
21:2 カナンの地のシロで彼らに告げた。
「【主】は、住む町と家畜の放牧地を私たちに与えるよう、モーセを通して命じられました。」
21:3 イスラエルの子らは【主】の命により、自分たちの相続地から次の町々とその放牧地をレビ人に与えた。
21:4 ケハテ人諸氏族のためにくじが引かれた。ユダ部族、シメオン部族、ベニヤミン部族から、くじによって十三の町がレビ人の祭司アロンの子らのものになった。
21:5 エフライム部族の諸氏族、ダン部族、マナセの半部族から、くじによって十の町が、残りのケハテ族のものになった。
21:6 イッサカル部族の諸氏族、アシェル部族、ナフタリ部族、バシヤンのマナセの半部族から、くじによって十三の町がゲルシオン族のものになった。
21:7 ルベン部族、ガド部族、ゼブルン部族から、十二の町がメラリ人の諸氏族のものになった。

レビ人は祭司の家系であり、彼らには部族としての土地はありませんでした。それは主が彼らの受け継ぐものであったからです。土地がないことは哀れようですが、しかし主御自身がおられるということは、最高の恵です。主がすべてを与えてくださるからです。

私たちは新約の祭司であり、その点においてはレビ族と同じです。私たちには主がおられるのです。「わたしの恵はあなたに十分である。」という、主

のこばを思い出しましょう。見えるものに頼って安心するよりも、それよりも確かである主に頼って安心しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



19日 金曜

ヨシュア



21:8 イスラエルの子らは、【主】がモーセを通して命じられたとおりに、次の町々とその放牧地をくじによってレビ人に与えた。
21:9 ユダ部族、シメオン部族からは次に名を挙げる町を与えた。
21:10 これらは、レビ族に属するケハテ人諸氏族の一つ、アロンの子らのものになった。最初のくじが彼らに当たったからである。
21:11 彼らにはユダの山地にあるキルヤテ・アルバ、すなわちヘブロンとその周囲の放牧地を与えた。アルバはアナクの父である。
21:12 しかし、この町の畑と村々はエフンネの子カレブに、その所有地として与えた。
21:13 祭司アロンの子らに与えられたのは、殺人者の逃れの町ヘブロンとその放牧地、リブナとその放牧地、
21:14 ヤティルとその放牧地、エシュテモアとその放牧地、
21:15 ホロンとその放牧地、デビルとその放牧地、
21:16 アインとその放牧地、ユタとその放牧地、ベテ・シメシュとその放牧地。これら二部族から与えられた九つの町である。
21:17 またベニヤミン部族の中からのギブオンとその放牧地、ゲバとその放牧地、
21:18 アナトテとその放牧地、アルモンとその放牧地の四つの町である。
21:19 アロンの子らである祭司たちの町は、全部で十三の町とその放牧地である。
21:20 レビ人であるケハテ人諸氏族に属する、ケハテ人の残りには、エフライム部族から、くじによって次の町々が与えられた。
21:21 彼らに与えられたのは、エフライムの

山地にある殺人者の逃れの町シェケムとその放牧地、ゲゼルとその放牧地、
21:22 キブツァイムとその放牧地、ベテ・ホロンとその放牧地の四つの町。
21:23 またダン部族からエルテケとその放牧地、ギベトンとその放牧地、
21:24 アヤロンとその放牧地、ガテ・リンモンとその放牧地の四つの町。
21:25 またマナセの半部族からタアナクとその放牧地、ガテ・リンモンとその放牧地の二つの町。
21:26 残りのケハテ族の諸氏族には、全部で十の町とその放牧地が与えられた。

レビ人に放牧地が与えられました。彼らは祭司の家系であり、主に直接仕える者たちです。彼らの受け継ぐものは主御自身であるというのは、何か心もとないような、または不公平のような気もしますが、そうではありません。主が彼らを支え守ってくださるということです。

主は彼らに放牧地を与え、彼らが生活できるようにします。各部族の土地から彼らに分与するのですが、誰も不平を言う者はなく、主の御心が成りました。主のために仕える者を支えるのは、信仰者の務めであり、祝福の基なのです。

新約の祭司として、レビ人のように神様に信頼を置いて生きる者でありましょう。また同じように主に仕える人を支えて、神の人が大いに働けるようにしてあげましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



20日 土曜

ヨシュア



21:27 レビ人の諸氏族の一つゲルシオン族に与えられたのは、マナセの半部族から、殺人者の逃れの町バシヤンのゴランとその放牧地、ベエシュテラとその放牧地の二つの町。
21:28 またイッサカル部族からキシュヨンとその放牧地、ダベラテとその放牧地、
21:29 ヤルムテとその放牧地、エン・ガニムとその放牧地の四つの町。
21:30 またアシエル部族からミシュアルとその放牧地、アブドンとその放牧地、
21:31 ヘルカテとその放牧地、レホブとその放牧地の四つの町。
21:32 またナフタリ部族から、殺人者の逃れの町であるガリラヤのケデシュとその放牧地、ハモテ・ドルとその放牧地、カルタンとその放牧地の三つの町。
21:33 ゲルシオン人の諸氏族の町は、全部で十三の町とその放牧地である。
21:34 レビ人の残りのメラリ人諸氏族に与えられたのは、ゼブルン部族から、ヨクネアムとその放牧地、カルタとその放牧地、
21:35 またディムナとその放牧地、ナハラルとその放牧地の四つの町。
21:36 またルベン部族からベツェルとその放牧地、ヤハツとその放牧地、
21:37 ケデモテとその放牧地、メファアテとその放牧地の四つの町。
21:38 ガド部族から殺人者の逃れの町、ギルアデのラモテとその放牧地、マハナイルとその放牧地、
21:39 ヘシュボンとその放牧地、ヤゼルとその放牧地、これら四つの町すべて。
21:40 これらの町はすべて、レビ人の諸氏族

の残りの、メラリ族の諸氏族のものであり、くじによって与えられた十二の町である。

21:41 イスラエルの子らの所有地の中で、レビ人の町は全部で四十八の町とその放牧地である。

21:42 これらの町はそれぞれその周囲に放牧地があった。これらの町はすべてそうであった。

21:43 【主】は、イスラエルの父祖たちに与えると誓った地をすべて、イスラエルに与えられた。彼らはそれを占領し、そこに住んだ。

21:44 【主】は、彼らの父祖たちに誓ったように、周囲の者から守って彼らに安息を与えられた。すべての敵の中にも、一人として彼らの前に立ちはだかる者はいなかった。

【主】はすべての敵を彼らの手に渡された。

21:45 【主】がイスラエルの家に告げられた良いことは、一つもたがわず、すべて実現した。

「【主】がイスラエルの家に告げられた良いことは、一つもたがわず、すべて実現した。」とは何と幸いなことばでしょうか。その内容は単に何かを得たというのではなく、主の秩序と御計画の通りにことが収まったということです。

主と民を取り持つ祭司であるレビ人に、民が従順に土地を与え、重要な礼拝の働きの基ができました。それがまさに「良いこと」なのです。

主の御計画と秩序が共同体になるように、力を尽くしましょう。またそれこそを「良いこと」として求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22:1 そのとき、ヨシュアはルベン人、ガド人、およびマナセの半部族を呼び寄せて、
22:2 彼らに言った。「あなたがたは、【主】のしもべモーセがあなたがたに命じたことをことごとく守り、私があなたがたに命じたすべてのことについても、私の声に聞き従った。
22:3 今日まで、この長い間あなたがたの兄弟たちを捨てず、あなたがたの神、【主】の命令に対する務めを果たしてきた。
22:4 今あなたがたの神、【主】は、約束したとおり、あなたがたの兄弟たちに安息を与えられた。今、【主】のしもべモーセがヨルダンの川向こうであなたがたに与えた、自分たちの所有地、自分たちの天幕に引き返しなさい。
22:5 ただ、【主】のしもべモーセがあなたがたに命じた命令と律法をよく守り行い、あなたがたの神、【主】を愛し、そのすべての道に歩み、その命令を守り、主にすがり、心を尽くし、いのちを尽くして主に仕えなさい。」
22:6 ヨシュアが彼らを祝福し、送り出したので、彼らは自分たちの天幕に行った。
22:7 マナセの半部族にはモーセがバシヤンに所有地を与えたが、残りの半部族には、ヨシュアがヨルダン川の反対側、すなわち西の方に、彼らの兄弟たちと並んで所有地を与えた。ヨシュアは彼らを天幕に送り出すとき、彼らを祝福して、
22:8 こう言った。「あなたがたは多くの財、つまり、非常に多くの家畜と銀、金、青銅、鉄、たくさんの衣服を持って天幕に帰りなさい。敵からの分捕り物はあなたがたの兄弟た

ちと分け合いなさい。」

22:9 ルベン族、ガド族、マナセの半部族は、カナンのあるシロでイスラエルの子らと別れ、モーセを通して示された【主】の命により、彼らが得た自分の所有地、すなわちギルアデの地へ帰って行った。

ルベン人、ガド人、マナセの半部族は、ヨルダン川の東に住みました。他の部族は川を渡った西側でした。それでもベン族とガド族、そしてマナセの半部族は、他の部族と一緒に西側を得るために戦ったのでした。彼らはそれゆえに、主から祝福されたのです。

主は共同体全体を愛しておられます。また共同体は全体で勝利します。特にキリストの体である教会は明かです。神の共同体のために、自分に関係ないとは言わずに、共に戦いましょう。尽力しましょう。それが祝福となるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

